

平成 18 年度
第 1 回 日本都市計画学会九州支部幹事会議事録

1. 日 時：2006 年 4 月 28 日（金） 13:30～15:00
2. 場 所：九州大学箱崎キャンパス理系地区内 国際ホール
3. 出席者：井上，中村，梶田，有馬，天本，内田，小林，柴田，菅，辰巳，堤，橋本，松永，吉田

4. 議 事：

1. 前回議事録確認
2. 総会資料確認及び運営
3. 平成18年度役割分担
4. その他
5. 今後のスケジュール
6. 理事会報告

(配布資料)

資料 1：第 6 回幹事会議事録

資料 2：総会等運営役割分担

資料 3：平成 18 年度役割分担（案）

資料 4：今後のスケジュール、学会年間スケジュール（案）

資料 5：理事会議事録

5. 議事内容：

(1) 前回議事録確認

- ・ 添付議事録に基づき、前回の会議内容を確認した。

(2) 総会資料確認及び運営（中村）

- ・ 総会運営の流れ、役割分担について検討、確認した。ひきつづき、総会資料の最終確認を行った。
- ・ 蓑茂、秋本両教授の顧問人事について追加検討することとした。(次回幹事会までに)
- ・ 辰巳幹事より、本部国際委員会で外国人留学生のネットワーク作りに着手する旨の報告があり、支部への協力依頼がなされた。

(3) 平成 18 年度役割分担（中村）

- ・ 別紙（案）に基づき、本年度の支部活動の役割分担について、検討を行った。次回幹事会までに検討結果を整理し、次回幹事会で役割を決定することとした。
- ・ 提起された意見は以下のとおり。
 - シンポジウム担当については、本年度新たに講演会、事例研究会を実施予定であり、委員の増員が必要ではないか。
 - C P D担当は、建築、土木各 1 人必要ではないか。

(4) 今後のスケジュール (中村)

- ・ 本部スケジュールと連動している支部スケジュールの確認を行なった。

(5) 理事会報告 (井上)

- ・ 別途資料に基づき、4月21日開催の理事会報告がなされた。

平成18年度第1回理事会

日 時 平成18年4月21日(金) 14:30~17:30

場 所 食糧会館 会議室

議 事 議事成立確認、今回議事録署名者指名

- 前回議事録確認・・・・・・・・・・・・・・・・(資料 p 1)
- 議決事項 (1) 会員の入退会・・・・・・・・・・・・(資料 p 5)
- (2) 研究委託・・・・・・・・・・・・・・・・(資料 p 26)
- (3) 諸規則改正について・・・・・・・・・・・・(資料 p 30)
- (4) 事業報告・決算・事業計画・予算・・・・・・・・(別 冊)
- (5) 学会賞・功績賞・国際交流賞選考について・・(資料 p 45)
- (6) 名誉会員推薦について・・・・・・・・・・・・(資料 p 47)
- (7) 新研究分科会の提案・・・・・・・・・・・・(資料 p 48)

報告協議 (1) 学会全体の協議事項

- ・ 理事改選、評議員改選について(意見交換)
- ・ 都市計画 CPD について・・・・・・・・・・・・(資料 p 50)
- ・ 学会組織改革・・・・・・・・・・・・(資料 p 52)
- ・ 事務局運営について(意見交換)

(2) 支部報告

- ・ 関西支部・・・・・・・・・・・・(資料 p 57)
- ・ 中部支部・・・・・・・・・・・・(資料 p 59)
- ・ 九州支部・・・・・・・・・・・・(資料 p 62)
- ・ 中国四国支部・・・・・・・・・・・・(資料 p 72)

(3) 常置委員会報告

- ・ 総務・企画委員会
- ・ 編集委員会・・・・・・・・・・・・(資料 p 73)
- ・ 学術委員会・・・・・・・・・・・・(資料 p 75)
- ・ 事業委員会・・・・・・・・・・・・(資料 p 76)
- ・ 情報委員会・・・・・・・・・・・・(資料 p 77)
- ・ 国際委員会・・・・・・・・・・・・(資料 p 78)

(4) 特別委員会報告

- ・ 21世紀学会ビジョン実現特別委員会・・・(資料 p 80)
- ・ 新潟中越地震災害復興調査特別委員会 (中村)

(5) その他・・・総会は5月19日(金)午後3時開催

(65%の回収率)

会 員 数

2006年4月21日 現在

	名誉会員	正会員	学生会員	賛助会員	合 計
2006/3/3 現在	35	4,808	228	278	5,349
入 会	0	168	91	2	261
退 会	0	249	127	13	389
転 格	0	0	0	0	0
死 亡	1	1	0	0	2
合 計	34	4,726	192	267	5,219

*賛助会員6社による合計8口の口数減があります。

* 1 過去の会員数の推移

	名誉会員	正会員	外国人会員	学生会員	賛助会員	(合計)
2005/4/15	32	4,770	0	189	280	5,271
2004/4/16	28	4,649	241	205	307	5,430
2003/4/25	27	4,737	231	256	315	5,566

日本都市計画学会 学会賞受賞者

(各賞五十音順・敬称略)

石川奨励賞

タイ都市スラムの参加型まちづくり研究：こどもと住民による持続可能な居住環境改善策
(社) シャンティ国際ボランティア会 (SVA) 秦 辰也

論文賞

近代世界システムと植民都市

アジア都市建築研究会代表 布野 修司

論文奨励賞

福祉の向上の視点を組み込んだコミュニティバスの評価に関する研究

大阪大学大学院工学研究科地球総合工学専攻 猪井 博登

市民参加による計画プロセスの電子メディア化に関する研究

東海大学政治経済学部政治学科講師 小林 隆

Open Spaces and the Modern Metropolis: Evolution and Preservation in London and Tokyo

横浜国立大学ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー 坂井 文

多時点断面データとSPデータを用いた交通行動変化の非集計分析

神戸大学大学院経営学研究科市場科学専攻 三古 展弘

中国における都市・建築の近代化と日本

東京大学生産技術研究所人間・社会系部門 徐 蘇斌

昭和初期の富山都市圏における土木事業と三人の技術者

(株) オオバ代表取締役専務 白井 芳樹

都市計画の分散化とサステイナブル都市政策に関する一連の研究

東京大学先端科学技術研究センター都市環境システム分野 菅 正史

韓国の都市計画・住宅法制度の政策展開に関する研究

本州四国連絡高速道路株式会社総務部長 周藤 利一

連続平面ならびにネットワーク空間における通過量の基礎理論と都市分析への応用

東京理科大学工学部第一学部第一学術科助手 田中 健一

マンション紛争の構造と既成市街地更新コントロール手法に関する研究

筑波大学大学院IT情報工学研究科社会システムマネジメント専攻講師 藤井 さやか

農村地域における土地利用制度とその包括的運用に関する基礎的研究

長岡技術科学大学研究生 松川 寿也

近代都市計画の導入に伴う都市空間の形成と変容から見た歴史都市フェスの都市保全

日本学術振興会特別研究員(PD) 松原 康介

日本都市計画学会 功績賞・国際交流賞受賞者

(五十音順・敬称略)

功績賞受賞者

石丸 紀興 広島国際大学社会環境科学部建築創造学科教授

三輪 利英 (元) 大阪市都市再開発局長・福山大学名誉教授

三輪 雅久 大阪立大学名誉教授

国際交流賞受賞者

萩島 哲 九州大学名誉教授

黄 世孟 高雄大馬都市發展與建築研究所專任教授
(HUANG, SHYH-MENG)

社団法人 日本都市計画学会

第39回 通常総会

日 時 平成18年5月19日(金) 午後3時00分より

場 所 東京大学 山上会館

次 第

1. 開 会
2. 会長挨拶
3. 議 事

議第1号	平成17年度事業報告について	1 頁
議第2号	平成17年度収支計算書ならびに貸借対照表、 正味財産増減計算書、財産目録について	6 頁
議第3号	平成18年度事業計画書(案)について	16 頁
議第4号	平成18年度収支予算書(案)について	17 頁
議第5号	名誉会員の推薦について	20 頁
議第6号	評議員の改選について	21 頁
議第7号	役員の一部改選について	23 頁
報告事項	学会賞、功績賞・国際交流賞受賞者	24 頁

4. 日本都市計画学会 学会賞、功績賞・国際交流賞授与
5. 受賞者のご挨拶
6. 閉 会
7. 懇 親 会

平成18年度事業計画書(案)

1. 研究活動の充実
21世紀ビジョン実現特別委員会の活動の一環として、新たな共同研究企画の公募を行い、研究費を交付する。
2. 学会誌DVD版の作成
論文集DVD版について学会誌のDVD版を作成・販売する。
3. 社会的活動の充実
各支部および本部で都市計画に関連する様々な分野との連携強化を図る活動を積極的に展開するとともに、学会の様々な広報活動を充実して、学会社会活動のより一層の活性化と組織充実を図る。
4. 都市計画CPD教育実施
事業化初年度となる都市計画CPD活動を軌道にのせ、内容の充実を図る。
5. 学会21世紀ビジョンの具体化
平成15年度に公表した「日本都市計画学会・21世紀ビジョン—新時代における創造と展開—」にもとづく、ビジョンの具体化を平成17年度に引き続き実施する。
6. 機関誌等の刊行
機関誌「都市計画」を隔月刊行(年間6冊)する。また都市計画論文集(CD-ROM・2枚及び冊子1冊)、都市計画報告集(CD-ROM・1枚)を刊行する。
7. 学術研究論文発表会の開催
平成18年11月18日(土)、19日(日)の2日間にわたり、琉球大学において行う。
8. 都市計画セミナーの開催
平成19年1月23日(火)24日(水)(案)の2日間にわたり、早稲田大学国際会議場において行う。
9. 月例懇話会及び見学会の開催
外部講師による懇話会を年3回、及び現地見学会を年1回行う。
10. 海外向け「ニュースレター」による情報発信
我が国の都市計画事情を海外の関係学協会・研究機関等に紹介するとともに、相互の情報交流を目的として「CPIJニュースレター」をホームページ上で公開する。
11. 学際的・国際的学術交流
平成18年8月18日(金)～21日(火)の4日間にわたり、台湾(国立台北科技大学)で国際都市計画シンポジウムを開催する。この他内外の関係学協会との学術交流を進める。
12. 学会賞、功績賞・国際交流賞の選考
都市計画の論文や計画設計等の中より優秀なものを選考し学会賞を授与する。
都市計画の進歩発展に寄与するもの、国際的交流に貢献したのものを選考し表彰する。
13. 委員会活動・支部活動
学会の事業遂行のため必要な委員会活動及び支部活動を行う。また本学会発展のため北海道・東北支部創設について引き続き検討を行う。

06/4/21

2006 年度 都市計画学会 重点事項と組織について(案)

1 2006 年度 学会の重点事項

- 1) 研究活動の充実 21 世紀ビジョン実現特別委員会の活動の一環として、新たに共同研究企画の公募を行い、研究費(50 万円×2 件)を交付する
- 2) 学会誌 DVD 版の作成論文集 DVD 版について学会誌の DVD 版を作成・販売する
- 3) 社会的活動の充実 各支部および本部で都市計画に関連する様々な分野との連携強化を図る活動を積極的に展開するとともに、学会の様々な広報活動を充実して、学会社会活動のより一層の活性化と組織充実を図る
- 4) 都市計画 CPD の推進 初年度となる都市計画 CPD 活動を軌道にのせ、内容の充実を図る
- 5) その他(従来から行われている活動の継続・発展)

2 重点事項実施の体制

- 1) 研究活動の活性化 ^{実現} 21C ビジョン特別委員会内に研究企画小委員会を設置する
 - ・研究活動応募から成果公表までの仕組みづくり
 - ・研究活動の公募と決定(予算 50 万円×2 件)
 - ・研究全体の進捗監理
 - ・*専任員 87(活動中) (3 年以内)*
- 2) 学会誌 DVD 版 総務・企画委員会内に学会誌 DVD 小委員会を設置する
 - ・学会誌 DVD 版の作成企画立案
 - ・DVD の作成と販売の作業管理 *2005 年 10 月 20 日*
- 3) 社会的活動の充実 総務・企画委員会内に社会的活動小委員会を設置する
 - ・本部主催の連携活動の企画と運営(200 万円) *(北海道・関東)*
 - ・各支部連携活動(100 万円×4 支部)の進捗監理
 - ・学会全体の広報活動の窓口 *原簿: DVD 版*

(シブチ 信子)
企業、自治体との連携
(他支部 連絡)
1 年以内の活動(予定) (400 万円)
- 4) 都市計画 CPD の推進 都市計画 CPD 運営委員会を設置する。*1 年以内の活動(予定) (400 万円)*
 - ・都市計画 CPD システム全体の運営管理
 - ・都市計画 CPD プログラム認定委員会の運営
 - ・都市計画 CPD ニュースの発行

学会以外の登録員 - 現在 1800 人

3 2006 年度 執行部の体制

1) 役員改選の原則について

今回は偶数年に就任した方が改選対象であるが、定款に基づくと役員半数は交代とすることが必要であるので、一部、就任時期にかかわらず機械的に改選するものとする。

今回はこの措置で卯月理事が改選対象となるが、実際には実質の活動時期が2年もしくは4年で交代となるように再任をして調整する。

2) 今期の実質的な役員交代 (敬称略)

会長 鳴海⇒大西 副会長 大西⇒武内 副会長 井上⇔杉恵
常務理事 苦瀬⇒大村 (常務理事 武内⇒石川)
理事と監事の交代 菱茂⇔山田 関西支部理事の交代 鳴海⇔安田顧問
退任理事 稲垣、木下 退任監事 西

(熊本県立大学理事)

上記の状況から新任理事を2名、監事を1名選出することが必要

3) 新任役員選出の考え方

現在の会員構成と理事構成のバランスから考えて、民間(特にコンサルタント)、国土交通省建築職、地方公務員の補強が望ましい。

また、1名は女性が望ましい。

年齢については概ね40代後半から60歳まで。

＜会員構成分析＞

平成18年1月理事会資料

- 対象者 正会員 4791名
- 分析項目
 - ・ 性別
 - ・ 年代
 - ・ 地域 (自宅基準)
 - ・ 職業 (勤務先、自営問わず)
 - ・ 在会期間

・ 性別	
男性	4308名 (90%)
女性	483名 (10%)
計	4791名 (100%)

・ 年代別	
20代	432名 (9%)
30代	1166名 (24.3%)
40代	1208名 (25.2%)
50代	1257名 (26.2%)
60代以上	714名 (15%)
生年月日不明	14名 (0.3%)
計	4791名 (100%)

・ 地域 (自宅基準)	
北海道東北	291名 (6.1%)
関東	2526名 (52.7%)
中部北陸	475名 (9.9%)
近畿	837名 (17.5%)
中国四国	224名 (4.7%)
九州沖縄	289名 (6.0%)
海外	117名 (2.4%)
不明	32名 (0.7%)
計	4791名 (100%)

・ 職業		理事の数	
職業	人数	3分野シエア	現状
A1 大学教職	1608名 (33.6%)	37.5% (41)	8人 < (12人)
A2 その他教職	185名 (3.9%)		
B1 中央官庁	121名 (2.5%)	21.0% (23)	5人 > (3人)
B2 地方自治体	625名 (13.0%)		
B3 公益法人	99名 (2.1%)		
B4 公団・事業団	162名 (3.4%)		
C1 建設業	134名 (2.8%)	32.8% (36)	7人 > (3人)
C2 不動産	99名 (2.1%)	(100) 20人	(18人)
C3 コナル・測量	1183名 (24.7%)		
C4 設計	58名 (1.2%)		
C5 建設系その他	98名 (2.0%)		
D NPO	20名 (0.4%)		
E その他(不明)	399名 (8.3%)		
計	4791名 (100%)		

・ 在会期間	
在会期間	
1～3年	884名 (18.5%)
3～5年	350名 (7.3%)
5～10年	944名 (19.7%)
10年以上	2613名 (54.5%)
計	4791名 (100%)

別枠 (大西・小沢・武内・杉恵)

西郷・長島・鶴野

岸田(横浜市)・山田(国造)

岸井・後藤・中井・原田・大村・石川
青木・内山・卯月・(瀬口)・(井上)・(安田)
勝田(東京都)